

自律覚醒型人工頭脳

自らの欲求で学習して
自らの意思で考えて
自らの発想で想像する

従来の仕組みとは異なる
自律覚醒推論技術の
新しい人工知能



Neuron Knowledge AI Laboratory Knowledge innovation

一般社団法人ニューロンナレッジ人工知能研究所

新しい自律覚醒型人工知能（人工頭脳）を研究しています。
現代人工知能の課題解決策と未来社会において人と共存して働く
日本技術基盤の人工頭脳を研究していきます。（※）

■知識と推論

従来の仕組みとは異なり智識が自律覚醒する知識モデルと推論ロジックです。

■課題の道標

従来の人工知能の制約や課題を解決するための道標や手段を持っています。

■技術者操作

統計数学知識が無くてもコンピュータ技術者は人工知能を自由に扱えます。

■人工知能教育

日本の人工知能技術の更なる向上と人工知能技術者の育成に活用できます。

■協調環境

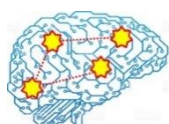
将来の人工知能共存社会における協調環境への社会基盤の構築を推進します。

■人工知能心理学

人間社会環境における人と相互間の社会指針となる基本学理を提言します。

■設計思想

自律覚醒型人工頭脳は非ノイマン型の設計思想から生まれた人工知能です。



一般社団法人ニューロンナレッジ人工知能研究所

<https://www.neuronknowledge.jp/>

ご質問やご連絡はサイトの問い合わせフォームからお願いします。

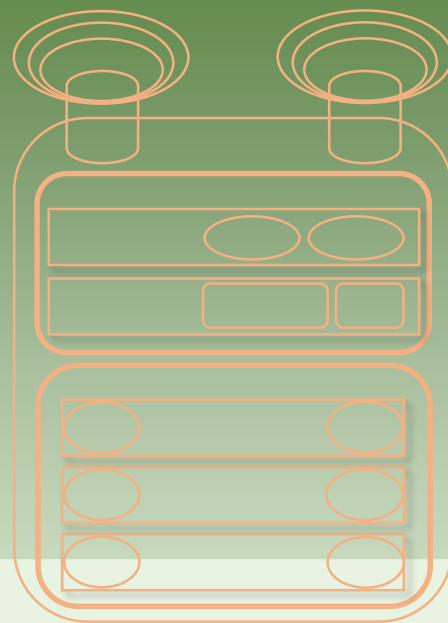
※人工頭脳理論は日本特許を取得しています。



研究所サイト

自律覚醒型人工頭脳

連携覚醒 (新しい自律推論基盤)
主体学習 (自らの意欲で学習)
感情推論 (人の感情嗜好を理解)
意思推論 (知識の意思で推論)
成長学習 (自己知識が自ら成長)
想像推論 (知識により想像生成)
自律意思 (自ら意思による作用)



Autonomous awakening neural cells

自律覚醒智識細胞

従来の神経ネット探索AIではない神経細胞覚醒AIの理論に基づく新しい推論ロジックを実現しています。(※)
自律覚醒型の推論モデルは人工知能の社会活用を大きく広げます。

■独立智識構造

物理的な結束を伴わない独立した智識細胞の集合構造を持つ知識モデルです。

■覚醒と活性化

入力情報により智識細胞が覚醒することで自ら情報を活性化(発信)します。

■主体学習

智識が持つ従属意思と智識状態(意欲)に従い必要な知識を主体的に学習します。

■汎用稼働

汎用的なデータベース環境であればパソコンからクラウドまで稼働が可能です。

■稼働知識

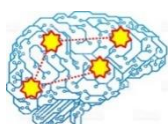
基本的な対話知識や基礎知識で初期稼働した後に必要な専門知識を学習できます。

■多様性概念

ひとつの人工頭脳に異なる多様性概念の知識を混在して相互的に評価できます。

■智識パッケージ

智識をパッケージ管理することでオリジナル知識の保存や他知識を融合できます。



一般社団法人ニューロンナレッジ人工知能研究所

<https://www.neuronknowledge.jp/>

ご質問やご連絡はサイトの問い合わせフォームからお願いします。

※人工頭脳理論は日本特許を取得しています。



研究所サイト